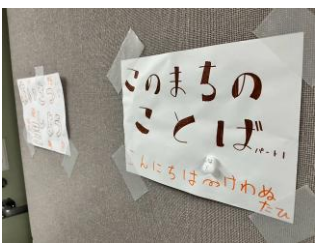
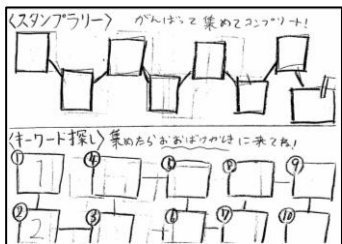


2024 子どもだけのまちをつくろう！本番(3/22.23)①



朝礼
タイムスケジュールや注意事項の確認
市長が実行委員を代表して一言



市民証等

まちに入る子ども全員が持つ市民証には、今年まちの企画イベント課からの出し物でスタンラリーとキーワード探しが行われました。スタンプをゲットすると神社で景品がもらえるしくみ。入退場は二次元コードで行われました。
また「あいさつ・コミュニケーション向上課」が考案したまちでのあいさつがあちこちで聞かれ、面白い響きにみんなが笑顔になりました。

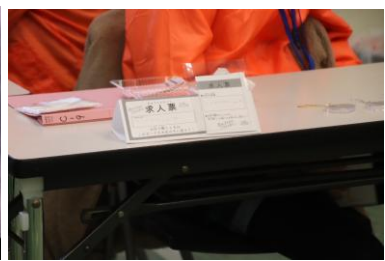


その他

今年は抽選で当たった大人12名だけが特別に大人立入禁止のまちの中に入り、市長の案内でまちの様子を実際に見ていただきました。
「まちの企画イベント課」の企画でまちのエンディングにニッシーが登場。参加者の子どもたちは大喜びでした。

小ホール

ワークショップ、ゲーム、雑貨屋さん、お化け屋敷、起業ブース、問屋など、飲食店以外のブースが揃いました。参加者の子どもたちはまちの地図を見たり、お店を見て回ったりしながら、求人票のあるところで働いたり、最初にもらえる800lightを使用して買い物やゲームを楽しみました。



展示ホール

飲食店と子どもシネマズ(映画館)がある場所です。朝礼終了後、飲食店の実行委員は調理室で仕込みを開始。レシピ通りとはいえ、200食分を作るのは大変なことです。初日は手間取っていましたが、2日目はまるで職人のように手を動かし、商品を作っている姿が印象的でした。



映画館は満席が出ることも。フードコートでは自分で買った食べものを楽しむ子どもたちの姿がありました。

2024 子どもだけのまちをつくろう！本番(3/22.23)②



起業ブース

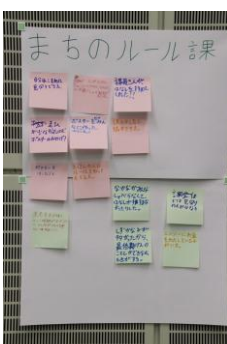
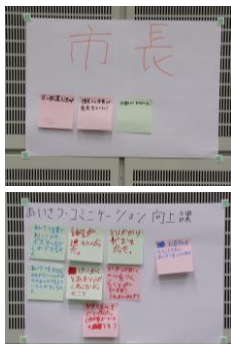
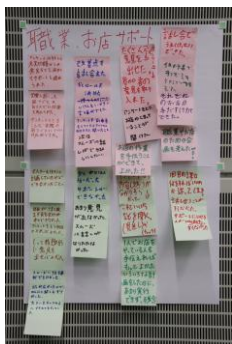
当日参加者でも、1000light貯まると土地を購入して出店ができます。受付で起業届を書いた後、材料を問屋で仕入れ、OPENしていました。



お疲れさまでした

すべての片付けが非常に早く終了し、施設を綺麗に使って返すことができました。最後に実行委員と学生サポーター全員での集合写真を撮影。みんなとても疲れた2日間でしたが、充実感に包まれていました。

2024 子どもだけのまちをつくろう！第8回実行委員会(3/29)



自分から見たまちはどうだったかを振り返る

第1回実行委員会と同じ班だったメンバーと再び顔を合わせ、第1回に考えた「こんなまちにしたい」「こんなまちはいやだ」を確認。その上で、自分の目線でどんなまちだったかを付箋に書きだしグループでシェアしました。また課の活動として、こんなことが出来て良かった、もっとこうすると良かった、これはうまくできなかった、などを振り返り付箋に記入し、各課の模造紙に貼りました。その間保護者は、第1回の実行委員会からどのような内容で進めていったか、や子どもたちの様子を説明しました。

後半では当日参加者のアンケートを子どもたちに配付し、目を通しながら自分なりに気づいたことや感じたことを書きこんでもらい、グループで気づきをシェア。気づいたことは全体で発表しました。

参加者から見たまちはどうだったかを知る

当日参加者アンケートを配付(実行委員内限定)し、目を通しながら他者目線でどうだったかを振り返りました。その後全体で気づきをシェア。もっとこうすればよかった、など他者目線を知るからこそ出てくる言葉も見られました。保護者はその間、当日行った大人ツアーの映像を観ました。



振り返りシート＆保護者アンケート

すべてを振り返って、実行委員とサポーター全員が「子どもだけのまちはあなたにとってどんな場ですか?」「これからやってみたいことはありますか?」という設問に記入し全体でシェア。保護者も同様にお子さんの様子や成長を感じた点をアンケートで回答するとともに全体でシェアしていただきました。

スタッフから一言

各スタッフから一言とともに、実行委員を経験しサポーターになった先輩から、実行委員へのメッセージが送られました。